



ずれたまま立つ

会話の途中で、
ふと、引っかかる。

言葉は
変わっていないはずなのに、
どこかで、
通り過ぎない。

同じ調子で、
同じ速さで、
同じように返している。

それでも、
何かだけが、
揃わない。

昨日まで、
問題はなかったはずだ。

どこで、とは言えない。

気づいたときには、
少しだけ、
届かなくなっている。

景色はそのまま、
何も動いていない。

ただ、
合っていたはずの位置が、
もう思い出せない。

言葉が届かないのか、
自分が外れているのか、
それも、はっきりしない。

それでも、
立っている。

ずれたまま。

Edition — 存在の芯
別景：ずれたまま立つ

著者：美学思想家 古川玲奈
発行：Raffiné
2026